



議員 4年生に拡大になったの成果は②6年生まで拡大の計画があるが、受け入れ態勢など、需要に応じていけるのか。

子ども青少年部長 ①市民ニーズに応えることができたが、3校は定員を超え、56人が入室できなかった。民間学童保育室や公立学童



▶学童保育(新習小)

学童保育室4年生に拡大になっての成果は「市民ニーズに応えることができた」

三輪 なお子 議員

保育室の一時保育での受け入れ等に対応。一時保育利用の増加に、今後、現場の人員の追加配置を検討していく。②入室希望者の多い小学校を中心とした地域へ引き続き民間学童保育室の誘致を行い、定員を拡大していく。

議員 定員漏れした保護者に、バス代負担など不公平感がある。民

間学童保育室に通う保護者に助成できないか。在のところが難しい。

発達障がい支援

議員 保護者の日常的な育児において、保護者同士の情報交換やコミュニケーションの場はどこか。

福祉部長 埼玉県で実施している「ペアレントメンター相談事業」が今年度、戸田市で開催される予定。

議員 全小中学校に特別支援学級は必要と考える。今後の設置予定は。

教育部長 特別な支援を必要とする児童生徒の在籍、設置のための教室の確保、指導する教員の配置など、市全体の状況を見ながら検討する。

防災訓練

少しの工夫で様々な事業が防災対策に変わる

「防災の視点を持って事業に取組む」



議員 本市でも市民の間で防災の意識は大変

高まってきている。しかし、目に見えて感じられるほど、防災訓練への参加者の数や家庭での備え、日頃の訓練などが充実している状況とは考えにくい。実際の行動に移すための、あと一押しが必要と考える。市の事業においても同様である。以下の取り組みについて、どのように考えるか。

市の取り組み①災害時に避難所が必要となる設備の状況②戸田市ハザードブックなど災害時情報の外国語での提供③民間の企業や福

遠藤英樹 議員

社施設などの災害協定④水害対策としての高層建築物所有者との災害協定⑤帰宅困難者対策。

市民の取り組み①市民体育祭等での防災訓練の要素の採用②盆踊り、餅つき大会など、自治会での食事の提供における防災訓練の要素の採用③景品等への防災グッズの採用④小中学生の防災の取り組みへの参加状況⑤各種イベントでの啓発活動⑥防災士の取得状況。

危機管理監 市の取り組み①指摘のあった可搬ポン



▶市民体育祭や餅つき大会も防災訓練になる

プなど必要なものを再確認してそろえる②英語での提供を始める③福祉避難所を含め協定を充実する④自主防災会を中心に進めている⑤J.Rなどと協定をしている。

市民の取り組み①一部でそのような動きもあるので広めていく②③参考にし、提案していく④⑤⑥共助の担い手として多くの市民を育成していく。

一般質問

ごみ・たばこ

ポイ捨て・歩行喫煙対策と条例の活用を

「喫煙制限地区、罰則化等検討する」

金野 桃子 議員

ごみ・たばこ対策が大きく動き出します！



議員 国道298号沿い等、特にごみがひどい

地域について国・県の制度や周辺企業の協力(CSR)企業の社会的責任)を得て清掃を。



▶ポイ捨てや歩行喫煙はやめましょう

環境経済部長 国・県に清掃を要請し、企業にも直接働きかける。表彰制度等を活用し、530運動も推進する。

議員 「ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例」は制定後6年が経過。多くの近隣市は路上喫煙制限地区等を指定し、指導員、罰則を設け一定の効果もある。本市も早急に検討を。

環境経済部長 今まで検討しなかったが、現地調査の上、改めて地区指定、指導員等を一体として予算も含め早急かつ前向きに検討する。罰則化も検討する。

学校・保育施設の非構造部材の耐震化

議員 学校は耐震化が進んでいるが新指針の対応を。保育園・学童は専門家委託も含め一度全的に調査点検を。

教育部長 バスケケットゴール等新指針が必要なのは適宜対応する。子ども青少年部長 調査点検方法を検討する。

市ホームページのリニューアル

議員 情報提供の改善、スマートフォンサイトを。

総務部長 今年12月のリニューアルに合わせ対応する予定。

議会だより視察レポート

議会広報委員会

群馬県吉岡町・新潟県聖籠町

1期生が頑張っています



▶5月21日 吉岡町の編集委員と一緒に

町村議会広報で5年連続入賞した「よしおか議会だより」の編集委員会は1期生7人だけで構成され、委員は常にカメラを持ち歩いているという事です。

また、「よしおかクイズ」など町民参加の企画を3ページにわたって掲載しています。

優良賞を受賞した「聖籠町議会だより」でも、編集委員会6人のうち3人が1

期生で、写真班を担当しています。町民参加記事については、自分の知っている人が議会だよりに掲載し、非常に親しみが湧くとの声が多数あったということです。

この視察を受け、当委員会では、今号から表紙の写真撮影に委員も加わることにし、また、6月と12月定例会号でクイズを取り入れることにしました。

視察に先立ち当委員会は、埼玉県町村議会議長会主催の議会広報研修会に参加し、議会活動を伝えるだけでなく、伝わる広報を追求していく必要があると教わりました。戸田市議会の「議会を知つtoco」も紹介され、県内の市議会だよりの中で高い評価をいただきました。